

行橋市立延永小学校学校通信
(2019年・平成31年度)

延小だより No.3

卯月 April 4月27日 発行

【学校目標】
豊かな心を育み、自ら学び、たくましく生きる子どもの育成

《校訓》 勤勉

◇ めざす子ども ◇

- ☆ 思いやりの心を持ち、素直で明るい子ども
- ☆ 自ら意欲的に学び、すすんで汗をかく子ども
- ☆ 地域に愛される元気な子ども

命を大切に ～ 交通安全教室を実施しました ～

ここ数日のテレビニュースや新聞記事でご存知でしょうが、児童・生徒が被害者となる交通事故が、全国各地で起きています。交通量が多い201号線をかかえる本校も、じゅうぶん気をつけなければならないと思っています。先日1年生・4年生を対象とした交通安全教室を実施しました。



また、子どもの登校時間・帰宅時間に合わせて、毎日、「延永こども見守り隊」の方々が、地域で見守ってくださっているとはいえ、何が起きるかわかりません。ご家庭のほうでも、不審者対応だけでなく、「交通ルールを守る」等の交通安全に関わる内容を話題にしていきたいと思います。よろしくお願いします。

ふせ

防ごう！ネットトラブル ～正しい使い方をしましょう～

〈 ネット（インターネット）上のいろいろな問題（トラブル）について 〉

～ 思わぬ落とし穴 気がつかないうちに ～

- ・ SNS → 誹謗中傷（名誉毀損罪、侮辱罪が成立する場合もあり）。
- ・ 出会い系サイト・コミュニティサイト → 様々な犯罪に巻き込まれる危険性。
- ・ ネット詐欺 → オークション詐欺、チケット詐欺。

【 SNS の使い方を間違えてしまうと 】

◇たとえば Twitter（ツイッター）の場合

○便利（べんり）なところ



- ・言いたいことをその瞬間しゅんかんにツイートして、みんなに読んでもらえる。
- ・ニュースの速報より速い！

●危険きけんなところ

- ・発信はっしんしたらすぐに広がってしまう（拡散かくさん）。
- ・一度拡散したら取り返しがつかなくなってしまう。（消すことがむずかしい）
- ・個人情報こじんじょうほうがどんどん流れていく。

家庭で携帯・スマホ等の使用ルールを作ってください！

携帯電話やスマートフォン等の使用による弊害へいがい —生活習慣の乱れ、学力の低下、命に関わる事件（いじめ、誹謗中傷など）— が社会問題にもなっています。ネットにつながる機器を使用させる場合は、親子でルールを必ず決めてください。
大人でも対処が難しい場合は警察へ！

「としょママ」さん、ありがとう

本年度も「としょママ」さんにお世話になっています。ありがとうございます。「としょママ」の皆様のおかげで、本に親しむ子どもたちが増え、読書に取り組む姿勢も定着してきました。



水難事故防止～まさかと思っていることが起こるのです！自然を

甘く考えてはいけません！～

4月だというのに、大分県日田市では30℃をこえ、真夏日を記録しました。この9連休でも、水難事故にくれぐれも気をつけてください。川・池など遊泳禁止区域、釣り禁止区域には絶対入らないでください。

自分の命を大切にすること第一に考えた行動をしてください

傷ついた心

不登校の現場から

◇1◇

朝、起きていつものように無料通信アプリ「LINE」E(ライン)の画面を開くと、見知らぬ名が100人以上、「友だち」として登録されていた。なぜ？しばらくして友人から「学校の誰かがIDをネットに公開したらしい」と連絡があった。ユリさん(16)は仮名が北九州市の中学に通っていたころの体験だ。

ユリさんは中2の時、仲の良い5人とLINEを利用しグループをつくり、帰宅してから寝るまで「トーク」し合った。今見ているテレビの話、先生の悪口をかぶせてスマホ(スマートフォン)を使った「グループでの異変は突然、始まった。ユリさんが仲間外れに遭った同級生を励ましたところ、数人から怒りを表す「スタレン」(スタンプの連打)が起きた。同級生をいじめた側にグループのメンバーがいたこと

グループでの異変は突然、始まった。ユリさんが仲間外れに遭った同級生を励ましたところ、数人から怒りを表す「スタレン」(スタンプの連打)が起きた。同級生をいじめた側にグループのメンバーがいたこと

スマホ

を知らなかった。返事せずにいると「虫(無視)か」と書き込まれた。

学校を休みがちになったころ、ユリさんの写真が「○事件の犯人にそっくりw」と添えられ、クラス内のLINEで出回ったことを知った。首謀者は突き止められていない。昨春、高校に入学したユリさん。だ

あっという間に標的



「LINEは手軽にコミュニケーションが取れる一方、使い方にはトラブルも」

が、すぐ不登校になった。「友達が怖いんです」

「『友だち地獄』という言葉、知ってますか?」。複数の友人と簡単に会話でき、情報を共有できるLINEだが、北九州市立大の

「すぐに返事しないとホス的な子から『何しているの』と言われる。仲間との『つながり』を絶たれるのが怖いから、お風呂に入っ

子どものスマートフォン事情 内閣府の2014年度調査によると、中学生では、約半分がスマートフォン(スマホ)を通じて2時間以上インターネットを利用している。北九州市では14年、小中学生による「いじめ防止サミット」で、努力目標として「スマホは午後10時までに電源を切る」と決めた。

楠凡之教授(臨床教育学)は「人間関係を閉ざしていく」危うさも指摘する。

悪質な書き込みなど学校の現場のネットトラブルについて相談を受ける全国webカウンセリング協議会(東京)。LINEが絡む相談を集計し始めた12年は35件で全体の0.2%だった。それが15年は140倍近い4813件。約22%を占める。「LINEがきっかけの不登校は今後、増える恐れがある」。安川雅史理事長(50)は警告する。

* * *

全国に約12万人いるとされる不登校の小中学生。原因はいじめや非行などさまざま。近年は家庭の貧困問題やネットトラブルも影を落とす。傷ついた子どもたちの心はどうすれば回復するのか。北九州・京築の不登校の現場から支援の在り方を考える。

(この連載は大庭麻依子が担当します)